



令和4年5月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

5月園だより

さわやかな風に5歳クラスの子どもたちが作ったこいのぼりが揺れています。なんとかしっぽに触れようと子どもたちが、ぴよんぴよんと跳ねていました。4月に入園した子どもたち、進級した子どもたちにとっても新たな環境が安心できて楽しい物になってきたようで、笑顔がとても増えてきました。

先日、1歳クラスの子どもたちが園庭で遊んでいると、4歳クラスの数人が鉄棒を始めました。前回りをしたり、膝でぶら下がったりと大胆な姿に、1歳クラスの子どもたちが興味津々にじわじわと近づいてきました。ぶつからない距離を保って一緒に見守っていると、4歳児を指さしては「あ・あ・あ」としきりに驚きをこちらに伝えてくれました。その様子に、4歳クラスの子どもたちは得意になってひとしきり技を披露してくれました。

園庭では、子どもたちのいろいろな発見や気づきがたくさんあります。大きな友達の自分にできないような遊びに驚いたり、時には真似してみたり、小さな友達を愛おしく感じたり、自然に異年齢の関わりが生まれ、それぞれが心を動かしています。そんな心の繋がりを大切に育んでいきたいと思えます。

さて、5月と6月に各クラスの懇談会を予定しております。お子さんの様子や各クラスの保育内容をお伝えし、皆さまとの懇談の場にしたいと思います。是非ご参加ください。



行事予定

定期健康診断（全園児）
環境教室（3, 4, 5歳児）
春の遠足（4, 5歳児クラス）
中旬 避難訓練、身体計測

クラス懇談会のお知らせ

- ・時間 全クラス16時30分～18時
- ・場所 ホール

看護師より

小さいクラスの子どもには、看護師と保育士の違いがよくわからないと思うのですが、毎日一緒に過ごしていると何となく「ケガをした時や具合が悪い時にみてる人だ」と感じるようです。看護師が室内に入ると、「ここ見て」とばかりに転んでできた傷などをズボンや袖口をまくってアピールしてきます。「痛かったね。でも、もう大丈夫だよ」とそっとなでると安心した表情に変わります。それを近くで見ていた子どもも慌ててどこかに傷がないかと探し、「私も見て」と仕草で訴えてきます。時にはほとんど治っている小さな傷あとのこともあり、くすっと笑えるのですが本人は真剣です。そして「もう大丈夫だよ」と言われると遊びに戻ります。看護師の看という字は、手と目からできています。目でよく見て手を差し伸べるのは保育と共通しています。子どもたちが安心して過ごせるように環境を整え、体だけでなく心も逞しく元気に育ってほしいと願っています。

入園、進級から1か月経って…子どもたちの様子

0歳・ちゅうりっぷぐみ

生活や遊び、毎日決まった保育士が目と目を合わせ、ゆったりと関わることで安心して過ごしています。初めて寝返りをうちながら玩具を手にとることが出来て嬉しそうな子や、オーガジーの布で保育士がいらないばあをするときニッコリ笑顔を見せてくれる子もいます。友達存在も気になり、顔を覗き込んだり、そっと触れてみたり、一人ひとりが保育園の生活に慣れてきて、とても機嫌のよい姿を見せ日々の興味が広がっています。

1歳・たんぽぽぐみ

少しずつクラスにも慣れてき子どもたちは、園庭での探索が大好きです。気になるものを見つけると、「あ」と指を差し、いつも一緒に遊んでいる保育士を見つけ、「あ、あ」と笑顔で知らせてくれます。雨の日の翌日は発見があります。タイヤの中にあるたくさんの雨水を見つけ、シャベルですくったり、ぴちゃぴちゃと音を楽しんだりしています。「見つけたね」と共感すると満面の笑みを浮かべ、楽しいことに夢中になって遊んでいる子どもたちです。

2歳・ひまわりぐみ

朝やおやつ後に広いホールで体をたくさん動かして、じゃれつき遊びを楽しんでいます。保育士が「ちょちょしちゃうぞー」と追いかけるとマットの周りを笑顔で逃げまわっています。おばけに追いかけているイメージを持って走っている子もいて、つかまえてマットの上に横たわらせ、くすぐると「ひゃー」と笑い声をあげ大喜びです。繰り返して遊んでいるといつの間にか友達と一緒に「鬼だぞー」と保育士を追いかけて互にくすぐりっこになりさらに大興奮しています。これからも全身で触れ合い、気持ちを解放して楽しんでいきたいと思ひます。

3歳・りすぐみ

絵本をきっかけに、泥だんご作りが盛り上がっています。「今日も泥団子作ろうよ」と楽しみにしています。ちょうどいい泥を作ることに試行錯誤し、水が多すぎて形にならず悔しそうな子もいます。その姿を見て何度も作った子が「泥団子名人だからね」と「砂を先に(バケツに)いれて、水をちょっといれるといいよ」と友達に教えていることもあります。小さい団子ぼたもちのような団子、すべすべな団子、黒く光る団子、それぞれが自分で作った団子をととても嬉しそうに見せてくれています。そんな一人ひとりが“自分ってすごい”と思える瞬間をたくさん積み重ねていきたいと思ひます。

4歳・うさぎぐみ

進級して年長と過ごす時間が多くなり、工作を真似したり大きなこいのぼりに憧れて作ったりするなど、刺激を受けています。庭で鉄棒をしていると、年長の友達が「前回りできるよ」と見せてくれました。「すごい」と目を輝かせながら「教えてほしい」と言うとき「こうやって鉄棒を持って、腕はまっすぐだよ」と丁寧に教えてくれました。回るのはまだ難しいですが「いっぱい練習するとできるよ」と励まされながら「やってみる」と挑戦する姿もあります。教えてもらったことを友達に伝えて一緒に何度も練習する姿もあり、友達との関わりも深まり、色々なことに興味を持って遊んでいます。

5歳・きりんぐみ

みんなで大きなこいのぼりを作りたいと話し、2グループに分かれて素材や色などを決めて作りました。絞り染めの模様を作るために輪ゴムを巻きつけたり外したりする工程は、初めは「難しいなあ」と苦戦する姿もありました。でも「みんなのこいのぼりだから一緒にやろうよ」と友達を励ます姿や、「こうしたらやりやすいんじゃない」とアイデアを出し合っていました。完成したこいのぼりは、まずはみんなで屋上に持って行って風に乗せ、「本当に泳いだよー」と、とても嬉しうでした。友達とみんなで一緒に考えて、みんなで力を合わせながら、一つのものを作り上げることがとても楽しくなっています。